

# 2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月8日

上場会社名 太陽化学株式会社 上場取引所 名

コード番号 2902 URL <a href="http://www.taiyokagaku.com/">http://www.taiyokagaku.com/</a>

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)山崎 長宏

問合せ先責任者(役職名) 取締役財務担当兼業務支援担当兼 企業統括部長 (氏名)増川 尚利 TEL 059-340-0802

四半期報告書提出予定日 2021年2月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四 半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	29,163	4.5	3,765	10.0	3,937	11.9	2,767	12.5
2020年3月期第3四半期	30,527	0.4	3,424	5.6	3,518	9.0	2,459	13.4

(注)包括利益 2021年3月期第3四半期 3,048百万円 (28.5%) 2020年3月期第3四半期 2,372百万円 (24.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円銭	円銭
2021年3月期第3四半期	152.79	
2020年3月期第3四半期	135.56	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率						
	百万円	百万円	%						
2021年3月期第3四半期	53,398	42,165	77.1						
2020年3月期	49,751	40,078	78.8						

(参考)自己資本 2021年3月期第3四半期 41,167百万円 2020年3月期 39,189百万円

#### 2. 配当の状況

	年間配当金							
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円銭	円銭	円銭	円銭			
2020年3月期		10.00		43.00	53.00			
2021年3月期		10.00						
2021年3月期(予想)				44.00	54.00			

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年 3月期の連結業績予想(2020年 4月 1日~2021年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上	高	営業和	·····································	経常和	引益	親会社株主に 当期純		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	38,000	5.9	4,500	2.8	4,600	1.4	3,250	2.6	179.40

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 社 (社名) 、 除外 社 (社名

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.8 「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無 以外の会計方針の変更 : 無 会計上の見積りの変更 : 無 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期3Q	23,513,701 株	2020年3月期	23,513,701 株
2021年3月期3Q	5,397,621 株	2020年3月期	5,397,530 株
2021年3月期3Q	18,116,104 株	2020年3月期3Q	18,146,339 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

# ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1)四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

#### 1. 当四半期決算に関する定性的情報

#### (1)経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響により企業収益の大幅な減少や雇用情勢の悪化など、経済活動の停滞が長期化することが懸念されます。

当社事業の主要分野であります食品業界におきましては、新しい生活様式の定着により巣ごもり消費とよばれる内食需要が増加しましたが、新型コロナウイルス感染症の再拡大により外食産業向けの需要がさらに減少するなど、企業を取り巻く事業環境は厳しい状況が続いております。

このような環境の中で当社グループ(当社、連結子会社及び持分法適用会社)は、引き続き対処すべき課題として

- ①市場変化への対応
- ②販売の強化 (グローバル化)
- ③品質管理体制の維持・強化
- ④環境への取り組み
- ⑤人材育成
- ⑥業務改善による全体最適化

を掲げ、企業価値の向上に取り組んでおります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、291億63百万円(前年同四半期比4.5%減)となりました。 営業利益は、37億65百万円(前年同四半期比10.0%増)となりました。経常利益は、39億37百万円(前年同四半期 比11.9%増)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、27億67百万円(前年同四半期比12.5%増)と なりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントの状況は次のとおりであります。

#### ■ ニュートリション事業

医療、健康食品及び飲料業界等にカテキン(緑茶抽出物)、テアニン(機能性アミノ酸)、水溶性食物繊維等の機能性食品素材、ミネラル製剤、ビタミン製剤等を製造、販売しております。

水溶性食物繊維は、国内市場・米国市場及びアジア市場が増加しました結果、売上高は前年を上回りました。 カテキンは、欧米市場は増加しましたが、国内市場が減少しました結果、売上高は前年を下回りました。 ミネラル製剤は、国内市場及びアジア市場が増加しました結果、売上高は前年を上回りました。

テアニンは、米国市場は減少しましたが、国内市場が増加しました結果、売上高は前年を上回りました。

この結果、売上高は、63億51百万円(前年同四半期比8.4%増)、営業利益は、16億67百万円(前年同四半期比60.0%増)となりました。

### ■ インターフェイスソリューション事業

乳製品、飲料、菓子、パン、加工油脂等の業界、及び化粧品、トイレタリー業界等に、乳化剤等の品質改良剤を 製造、販売しております。

飲料用途は、国内市場が増加しました結果、売上高は前年を上回りました。

化粧品、トイレタリー用途は、国内市場及び海外市場が減少しました結果、売上高は前年を下回りました。 一般食品用途は、国内市場が減少しました結果、売上高は前年を下回りました。

この結果、売上高は、74億36百万円(前年同四半期比5.9%減)、営業利益は、13億41百万円(前年同四半期比12.1%減)となりました。

#### ■ アグリフード事業

乳製品、飲料、菓子、パン、ハム・ソーセージ、即席めん、農産加工業界等に、鶏卵加工品、たん白素材、即席 食品用素材、フルーツ加工品、農産加工品等の食品素材、品質改良剤、安定剤等を製造、販売しております。

鶏卵加工品は、国内市場のめん用途、菓子用途等の粉末卵が減少しました結果、売上高は前年を下回りました。 即席食品用素材は、国内市場の即席めん用途が減少しました結果、売上高は前年を下回りました。

フルーツ加工品は、国内市場のパン用途及び冷菓用途が減少しました結果、売上高は前年を下回りました。 安定剤は、デザート用途が減少しました結果、売上高は前年を下回りました。

この結果、売上高は、153億3百万円(前年同四半期比8.2%減)、営業利益は、7億55百万円(前年同四半期比9.1%減)となりました。

#### ■ その他

料理飲食等の事業を行っております。

売上高は、71百万円(前年同四半期比31.1%減)、営業利益は、0百万円(前年同四半期比97.9%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が前連結会計年度末に比較して36億46百万円増加して533億98百万円となりました。主な資産の変動は、現金及び預金の増加11億46百万円、受取手形及び売掛金の増加10億84百万円、有形固定資産その他の増加11億56百万円、投資有価証券の増加2億10百万円です。

負債は、前連結会計年度末に比較して15億59百万円増加して112億32百万円となりました。主な負債の変動は、 支払手形及び買掛金の増加6億24百万円、賞与引当金の増加1億91百万円、流動負債その他の増加10億68百万円、 未払法人税等の減少4億9百万円です。

純資産は、前連結会計年度末に比較して20億87百万円増加して421億65百万円となりました。これは主に、親会 社株主に帰属する四半期純利益27億67百万円の計上、非支配株主持分の増加1億9百万円、配当金の支払による減少9億60百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の78.8%から77.1%となりました。

# 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

		(単位:千円)
	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8, 055, 007	9, 201, 170
受取手形及び売掛金	10, 402, 979	11, 486, 988
商品及び製品	3, 890, 881	3, 930, 344
仕掛品	524, 338	487, 846
原材料及び貯蔵品	2, 040, 317	2, 014, 216
その他	538, 635	588, 422
貸倒引当金	△10, 783	△13, 829
流動資産合計	25, 441, 375	27, 695, 160
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6, 131, 625	6, 224, 016
土地	8, 231, 806	8, 228, 512
その他(純額)	2, 586, 619	3, 742, 995
有形固定資産合計	16, 950, 051	18, 195, 524
無形固定資產	291, 736	265, 389
投資その他の資産		
投資有価証券	4, 732, 075	4, 942, 617
その他	2, 349, 121	2, 312, 630
貸倒引当金	△12, 950	△12, 950
投資その他の資産合計	7, 068, 246	7, 242, 297
固定資産合計	24, 310, 034	25, 703, 211
資産合計	49, 751, 410	53, 398, 371

		(単位:千円)
	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5, 439, 087	6, 063, 879
未払法人税等	792, 054	382, 960
賞与引当金	238, 575	430, 204
その他	2, 056, 352	3, 124, 789
流動負債合計	8, 526, 069	10, 001, 833
固定負債		
退職給付に係る負債	180, 016	190, 473
役員退職慰労引当金	450, 383	478, 302
その他	516, 490	562, 108
固定負債合計	1, 146, 890	1, 230, 883
負債合計	9, 672, 960	11, 232, 717
純資産の部		
株主資本		
資本金	7, 730, 621	7, 730, 621
資本剰余金	7, 340, 648	7, 340, 648
利益剰余金	27, 923, 215	29, 730, 535
自己株式	△4, 983, 097	$\triangle 4,983,257$
株主資本合計	38, 011, 388	39, 818, 548
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1, 558, 512	1, 625, 423
繰延ヘッジ損益	$\triangle$ 10, 419	19, 301
為替換算調整勘定	$\triangle 340,674$	$\triangle 277,952$
退職給付に係る調整累計額	$\triangle 29,412$	△18, 124
その他の包括利益累計額合計	1, 178, 005	1, 348, 647
非支配株主持分	889, 056	998, 458
純資産合計	40, 078, 449	42, 165, 654
負債純資産合計	49, 751, 410	53, 398, 371

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円) 前第3四半期連結累計期間 当第3四半期連結累計期間 2020年4月1日 (自 2019年4月1日 (自 2019年12月31日) 2020年12月31日) 至 売上高 30, 527, 843 29, 163, 196 売上原価 22, 146, 165 20, 772, 723 売上総利益 8, 390, 472 8, 381, 678 販売費及び一般管理費 4, 956, 706 4, 624, 696 営業利益 3, 765, 776 3, 424, 971 営業外収益 34, 032 27,920 受取利息 56,858 57, 427 受取配当金 持分法による投資利益 23,570 63, 545 その他 38,612 75,696 営業外収益合計 224, 589 153, 073 営業外費用 3,789 支払利息 3,959 貸与資産減価償却費 17,717 4,940 為替差損 31,671 17, 736 支払補償費 2,402 その他 16, 561 13, 714 営業外費用合計 59, 535 52,958 経常利益 3, 937, 406 3, 518, 509 特別利益 28, 564 866 固定資産売却益 特別利益合計 28,564 866 特別損失 固定資産除売却損 117, 438 61,873 特別損失合計 117, 438 61,873 税金等調整前四半期純利益 3, 429, 635 3, 876, 400 法人税等 895, 747 1,011,685 四半期純利益 2, 533, 888 2, 864, 714 非支配株主に帰属する四半期純利益 96, 744 73,890 親会社株主に帰属する四半期純利益 2, 459, 997 2, 767, 970

# (四半期連結包括利益計算書) (第3四半期連結累計期間)

(为 5 6 十列建帕尔 11 列间)		
		(単位:千円)
	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	2, 533, 888	2, 864, 714
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10, 823	71,608
為替換算調整勘定	△176, 812	72, 097
退職給付に係る調整額	9, 491	11, 288
持分法適用会社に対する持分相当額	$\triangle 4,955$	28, 306
その他の包括利益合計	△161, 452	183, 301
四半期包括利益	2, 372, 435	3, 048, 016
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2, 333, 430	2, 938, 613
非支配株主に係る四半期包括利益	39, 005	109, 402

#### (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記) 該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

#### (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会 計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。 なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

#### (追加情報)

新型コロナウイルス感染症(以下、本感染症)の影響に関して、当社グループは現時点では、厳重な対策を実施 した上で事業活動を継続しており、現時点においては、平常時と同水準の稼働率を維持しております。

しかし、本感染症は経済、企業活動に広範な影響を与える事象であり、また、今後の広がり方や収束時期等を予想することは困難なことから、入手可能な外部の情報等を踏まえて、今後、2021年3月期の一定期間にわたり当該影響が継続するとの仮定のもと、繰延税金資産の回収可能性や固定資産の減損の判定等の会計上の見積りを行っております。

#### (セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

			四水和,半外			
	ニュー トリション 事業	インター フェイス ソリュー ション 事業	アグリ フード 事業	計	その他 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	5, 858, 919	7, 898, 711	16, 666, 364	30, 423, 996	103, 847	30, 527, 843
セグメント間の内部 売上高又は振替高	_	_	_	_	_	_
計	5, 858, 919	7, 898, 711	16, 666, 364	30, 423, 996	103, 847	30, 527, 843
セグメント利益	1, 042, 582	1, 526, 770	831, 545	3, 400, 898	24, 073	3, 424, 971

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、料理飲食等の事業であります。
  - 2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。
  - Ⅲ 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					四半期連結
	ニュー トリション 事業	インター フェリュン ション 事業	アグリ フード 事業	計	その他 (注) 1	日十朔廷相 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	6, 351, 710	7, 436, 118	15, 303, 832	29, 091, 662	71, 534	29, 163, 196
セグメント間の内部 売上高又は振替高	_	_	_	_	_	_
計	6, 351, 710	7, 436, 118	15, 303, 832	29, 091, 662	71, 534	29, 163, 196
セグメント利益	1, 667, 923	1, 341, 410	755, 926	3, 765, 260	515	3, 765, 776

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、料理飲食等の事業であります。
  - 2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。